



1. 神経耳科の特徴

神経耳科は耳鼻咽喉科の一つの専門的診療領域 subspeciality であり、主な対象領域は、めまい・難聴・耳鳴などのめまい・平衡障害と聴覚障害（神経耳科疾患）、顔面神経疾患（急性顔面神経麻痺）であるが、他にも耳鼻咽喉科領域の末梢および中枢神経疾患を扱うことを目標としており、耳鼻咽喉科に関する神経学、あるいは神経に関する耳鼻咽喉科学ともいえる。従って神経耳科は耳鼻咽喉科学を基盤として、神経内科、脳神経外科、眼科なども密接な関連を持つ、学際的な領域である。診療は週 6 日の外来診療で年間新患者数は約 2,300 名（延べ数）、年間入院患者数約 70-80 名である。

わが国の大学病院では唯一の診療科であることを誇りに、日常診療に努力している。

2. 診療実績（平成 27 年度）

外来新患内訳

聴覚障害	感音難聴 …… 882 名	伝音難聴 …… 144 名
	その他の難聴 …… 88 名	耳鳴症 …… 783 名
めまい疾患	末梢前庭疾患 … 914 名	中枢前庭疾患 …… 35 名
	その他 …… 345 名	その他の疾患 … 345 名
顔面神経障害	…………… 150 名	

入院患者内訳

めまい疾患……………10 名	聴覚障害……………4 名
顔面神経麻痺……………31 名	その他……………0 名

3. 診療科の体制

伊藤 彰紀（教授）	中枢性めまい、メニエール病、内耳麻酔治療
新藤 晋（耳鼻科兼任講師）	めまい・難聴・顔面神経麻痺の診断と治療
杉崎 一樹（耳鼻科兼任助教）	めまい・難聴・顔面神経麻痺の診断と治療
水野 正浩（客員教授）	神経耳鼻咽喉科学、前庭誘発頸筋電位検査
三島 陽人（非常勤講師）	後迷路性難聴の臨床、鼻アレルギー、滲出性中耳炎の臨床
加藤 晴弘（非常勤講師）	メニエール病、顔面神経麻痺、突発性難聴

4. プログラムの目的と特徴

神経耳科は旧平衡神経科の改組により、平成 10 年に耳鼻咽喉科学講座の一部門として新たに発足した、耳鼻咽喉科の専門的診療領域 subspeciality 一つのである。神経耳科の対象領域はめまい・難聴・耳鳴などの平衡障害と聴覚障害（神経耳科疾患）を主体とするが、さらに、顔面神経疾患や耳鼻咽喉科領域の末梢および中枢神経疾患を扱うことを目標としており、耳鼻咽喉科に関する神経学、あるいは神経に関する耳鼻咽喉科学といえる。耳鼻咽喉科領域全般にかかわる神経学の研修を目指す当科の研修プログラムは、耳鼻咽喉科学の研修内容にも含まれることから、日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度の規定による 4 年間の研修カリキュラムのプログラムにも含まれることになる。したがって、耳鼻咽喉科との間には相互に研修の交流がある。

以上の後期臨床研修の基盤をなしているのは、神経耳科外来における週 6 日の診療による年間約 2,300 名の新来患者（延べ数）と、年間約 70-80 名の入院患者である。当科のスタッフは、わが国の大学病院では唯一の診療科であることを誇りに、日常診療に努力している。その成果を学会発表や論文として纏めることも研修のひとつとなる。

5. 取得可能な資格 日本耳鼻咽喉科会認定専門医：4年以上の耳鼻咽喉科専門研修後の試験による。

日本めまい平衡医学会めまい相談医

：会員歴 3 年、耳鼻咽喉科あるいはその他基幹となる診療科の専門医を取得していること（従って、内科、脳神経外科などの耳鼻科以外の所属医師でも取得可能）。

日本めまい平衡医学会専門会員（active member）資格

：10 年以上の研究歴などの条件充足後に資格審査による。

医学博士：本学の規定による学位審査による。（論文博士）

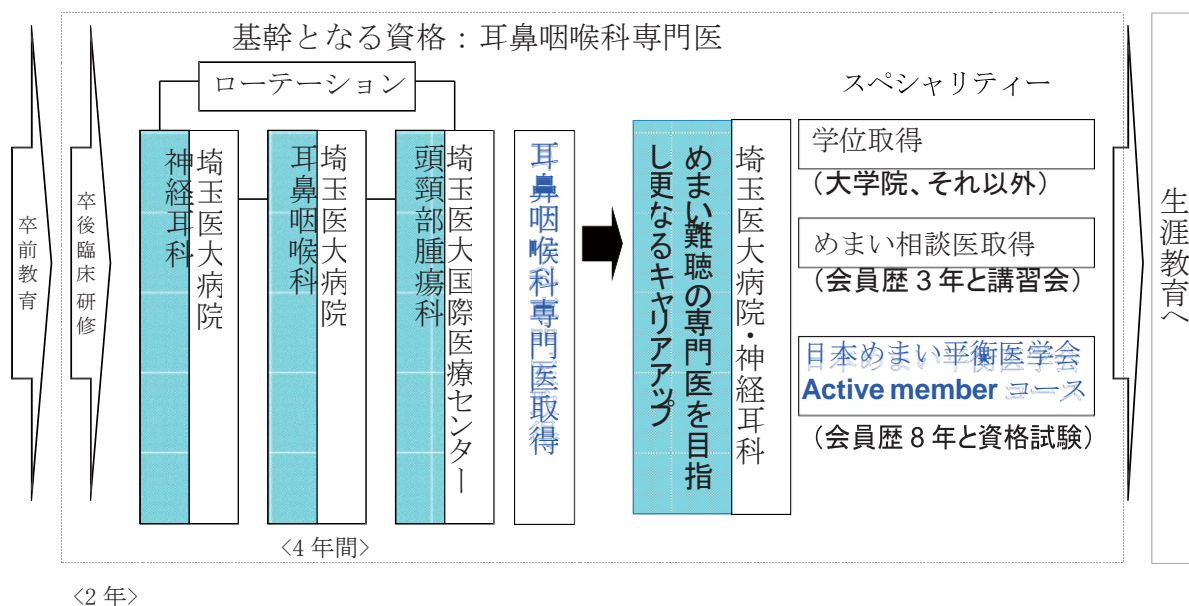
大学院における課程博士は後記。

6. キャリアパス

専門科シニアレジデントコース：神経耳科

1：日本めまい平衡医学会 active member コース(人数 1 名)

2：日本めまい平衡医学会めまい相談医コース
(耳鼻咽喉科以外の専門医でも取得可能) (人数 1 名)



7. 連絡先 : 神経耳科

担当者名 伊籐彰紀

TEL : 049-276-1229 (医局直通)

E-mail : akinito@saitama-med.ac.jp



神経耳科 病棟教授回診の写真